

2013.10.23

「外宮の遷御の儀で見た不思議な光景」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は 10 月 23 日です。本日から明日にかけて参議院の場で予算委員会が開催され、総理を始め、各大臣に質問を行っていきます。今回、私は予算委員会の委員からはずれ出番はありません。本日は予算委員会のお話ではなく、先日の伊勢神宮においての式年遷宮についてお話致します。私は 10 月 5 日に外宮に赴き、遷御の儀を目の前で拝見しました。その時に起こったある不思議な出来事について、皆様にお伝えしたいと思います。これは夕方 18 時頃から始まり、辺りは真っ暗な中、行われておりました。大勢の人々が新しいお宮と、古いお宮の前で心静かに始まりを待っていました。そして、ちょうど遷御が始まる直前、私は新しいお宮と、古いお宮の中間点あたりにいたのですが、目の前の大きな神木の上からバサバサと大きな音がしました。私も何か音がしましたので、猿かカラスでも木に止まったのかなと思って見ていたのですが、何か奇妙な生き物がモゾモゾと動き始めました。その生き物が上へと登っていき、長い尻尾が見えたので、リスかなと思ったのですが、リスにしては大き過ぎます。一体この生き物は何なのだろうと、上を凝視しておりました。そうしますと、木のとっぺんまで登って行きまして、瞬間、シューッと飛び立って、古いお宮から新しいお宮の方へと飛び立って行きました。そうなんです。ムササビ

だったのです。私はムササビを初めて見たのですが、結構大きく、この位の雑誌を広げた程度で、ちょうど尻尾もありますから、かなりの大きさになります。暗い夜空の上をスーッと飛んでいき、古いお宮さんから、新しいお宮さんの方へ向かいました。だいたい 100m くらいだったと思います。まさにこれは神渡だったのです。これを見た瞬間にゾクゾクっとしました。まさに神様がお渡りに、お移りになられたのです。神様がムササビの姿に変わって、お渡りになった気がします。そして、その後に実際に遷宮の儀が行われまして、真っ暗な中を、神官がそれぞれの装束を身にまとい、また、ご神体は白い絹で覆われ見ることはできません。私は遷宮の儀を見ておりまして、色々なことを感じました。心静かに待っていますと、むささびの神渡りを始め、様々なことを見たり考えたりすることができます。そして、古いお宮さんから新しいお宮さんに何故変えていくかといいますと、色々な説がありますが、そういった説とは別に、正にこれこそレジームチェンジだと私は思いました。古いお宮さんの中で今時代が進んできていました。そして、次に新しいお宮さんになるということは、体制が一新されます。古い体制で限界に来ているものが、新しい体制に変わるにより、中身を一举に変える。しかし、ただ変えるだけでなく、お宮さんと致しましては、しっかりお祀りして守っていきます。これは日本に何かしらの危機に遭遇したとき、その危機をのり越えていく一つの知恵ではないかと思いました。古い体制から新しい体制に

変わりますが、これは決して革命ではありません。一つの体制の中でしっかり物事を考える仕組みを、そのまま変えてしまうことにより、問題が解決していく訳です。私は式年遷宮に参加し、むささびが飛んでいく様子を見た時に、正に雷に打たれるような感覚で感じ取りました。

現在の日本社会は、安倍首相が誕生し、デフレから脱却だということで期待感があります。しかし、その一方で様々な問題があることも事実です。私に対しましても、そのことについての疑問や励まし等、様々なご意見を頂いておりますが、私がやらなければならないことは式年遷宮で見せて頂いたことのように、今この体制の中で限界になっているけれど、そこをもう一度飛び越えていき、新しい仕組みや考え方を国民に示していくことが必要だということを感じました。そして、その時に新しいプランを一つ思い付きました。その中身につきましては、まだここではお話致しません。この後、中身について検討した上で皆様方にお披露目したいと思います。次の世代でも日本が飛躍できるように、経済や国民生活においても強い国にする必要があります。そのためには新たなレジームチェンジが必要です。その具体的な政策に関しましては、次の機会に皆様方にお話致したいと思います。まさに、それは神の啓示ではありませんが、式年遷宮のムササビの神渡を見ながら感じたわけです。本日この不思議な体験について皆様にお話させていただきました。ご覧になって頂き、ありがとうございました。